

移動杭測定の実目的と概要

実目的

- 地すべりの安定度の確認
- 地すべり活動の特徴把握

概要

- 地表に設置した観測点の座標を、時間を追って測定する
- 移動量の大きな地すべり運動特性の把握に有効
- GPSを用いた自動観測システムでは移動量の小さな地すべり活動の把握も可能となった(活動初期、あるいは緩慢な地すべり活動等)

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

移動杭測定 結果活用上の留意事項

観測点周辺の局所的な地盤の動きを反映する可能性がある

杭の傾動によって、変位量が過大あるいは過小に測定される可能性がある（観測点を杭頭に設置した場合）

測定作業の中で発生する誤差を総合的に評価し、測定精度を判断する必要がある